

「やまぐちユニバーサルデザイン大賞（活動部門）」

令和4年度

【優秀賞】

活動名	在宅治療患者向け処方薬品使用時における取扱性の向上
団体名	しまかぜ在宅支援診療所
代表者名	川口 寛、杉山 茂雄
活動開始時期	令和4年9月
活動内容	処方薬品のキャップを開ける自助具を3Dプリンターで作成し、患者に供与

平成30年度

【優秀賞】

活動名	下関バリアフリー観光情報収集・発信
団体名	
代表者名	森井 広毅
活動開始時期	平成29年3月
活動内容	下関市内の観光施設のバリアフリー情報をホームページに掲載

平成26年度

【優秀賞】

活動名	要約筆記
団体名	萩要約筆記サークルマープル
代表者名	会長 吉見 浩子
活動開始時期	平成16年4月
活動内容	要約筆記の理解の促進を目的として、普及啓発活動や要約筆記体験講座等に取り組んでいる

平成25年度

【優秀賞】

活動名	大島商船インターネットテレビとケーブルテレビによる方法
団体名	大島商船高等専門学校コンピュータ部
代表者名	代表 井川 翔平（いがわ しょうへい）
活動開始時期	平成19年4月
活動概要	心のバリアフリーを目指し大島商船インターネットテレビとケーブルテレビの連携により、地域で元気に活動する人の情報を発信

【優秀賞】

活 動 名	路線バス乗り場の案内表記の整備
団 体 名	いわくにバス株式会社
代 表 者 名	代表取締役 上田 純史（うえだ じゅんじ）
活 動 開 始 時 期	平成24年12月
活 動 概 要	路線バス乗り場の案内表記について、ピクトグラムの使用など目立つ工夫をしつつ整備

※ 平成22年度～平成24年度は該当なし

平成21年度

【優秀賞】

活 動 名	「運転手のためのバリアフリーマニュアル」の作成による路線バス運転手の支援
団 体 名	社団法人 山口県バス協会
代 表 者 名	会長 楞川 幸太郎（かどかわ こうたろう）
活 動 開 始 時 期	平成20年8月
活 動 内 容	<p>バス事業者各社が、ノンステップバス導入など、計画的にバリアフリー化の取組を進めている中で、ソフト面で支援。</p> <p>○ 障害者の方、高齢者の方、また妊婦さんなど移動が困難と感じる方々がバスを利用される時の基本的な対応の方法をまとめた「バス 運転手のためのバリアフリーマニュアル」を作成・配布。</p> <p>○ 人にやさしいバリアフリーバスを目指して、どなたもが気持ちよく利用していただけるよう、県内の乗り合いバスの全車両にこのマニュアルを備え付けている。</p>

【優秀賞】

活 動 名	県中央部を中心とした公共交通のバリアフリー化状況の調査及び調査結果の情報提供
団 体 名	バリアフリー公共交通研究調査会
代 表 者 名	代表 吉田 倫太郎（よしだ りんたろう）
活 動 開 始 時 期	平成14年
活 動 内 容	<p>○調査内容</p> <p>公共交通機関（鉄道・バスなど）のバリアフリー化の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は、山陽本線・山口線・宇部線の各駅 ・バスは、防長バス、JRバスの路線バス及びコミュニティバス <p>○調査結果の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成（2005年）し、関係団体などに配布 ・ホームページ（http://www9.plala.or.jp/ringobatake/）を作成し、調査結果を掲載。新しい情報は随時更新

平成20年度

【大賞】

活 動 名	地域ブランド構築のための観光戦略 (ユニバーサルデザイン観光日本一をめざして)
団 体 名	県立萩商工高等学校
代 表 者 名	3年 小 橋 知 世 (こばし ともよ)
活 動 開 始 時 期	平成19年4月
活 動 内 容	<p>萩市の地域ブランド構築に貢献するため、「観光」と「ユニバーサルデザイン」に支店を当て、地元企業やし等との連携により、萩市の活性化に必要な対策や戦略を様々な角度から調査・研究・分析するとともに、地元産出の竹を素材にしたユニバーサルデザイン商品の開発を行う。</p> <p>○ 1年目(19年度)</p> <p>ユニバーサルデザイン観光における萩市の実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすによる観光地の実態調査、福祉施設や市民等へのアンケート調査による分析 ・他県、海外との比較 ・萩市がユニバーサルデザイン観光日本一になるための課題、将来性の整理 <p>○ 2年目(20年度)</p> <p>地元企業、大学とのコラボレーションによるユニバーサルデザイン商品の開発</p>

【優秀賞】

活 動 名	バリアフリー社会にいち早く貢献するセーフティブロック
団 体 名	カワノ工業株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 河 野 通 晴 (かわの みちはる)
活 動 開 始 時 期	平成19年9月
活 動 内 容	<p>交差点での安全確保とスムーズな往来を目標に、車道から歩道への乗入ブロックの段差を、現行の2cmからスロープでの2cm段差にし、コンクリートには認識性の高い黄色の特殊ゴムピースを埋め込んだセーフティブロックを製造・販売し、人にやさしい道づくりに取り組む。</p>